

ISO/IEC/JIS Plastics 事務局便り 2008年 1月

2007年 ISO/TC 138 ソウル国際会議開催状況

ISO/TC 138(液体輸送用プラスチック管, 継手及びバルブ類)の第18回国際会議が, 10月29日から11月2日の間, 韓国のソウルで開催された。

今年の国際会議には19ヶ国から80名が参加した。日本からも10名が参加して積極的に議論に加わり、プロジェクトの進捗に貢献した。以下, 各 SC 会議の概要を報告する。

1.参加国と参加者

(1) 主要な参加国

今年の国際会議の参加国を参加者が多い順に並べると以下ようになる。参加者が最も多い国は主催国である韓国であった。

韓国:27名、日本:10名、英国:6名、オランダ:5名、ドイツ:4名

フランス, スイス, イスラエル, オーストラリア:各3名

(2) 地域別参加者

地域別参加者では、韓国のソウルで開催されたこともあってアジアが最も多かった。一方、参加者が最も少ないのは北米であった。

アジア:45名(56%), 欧州:30名(37%), アフリカ:3名(4%), 北米:2名(3%)

2. 開催会議

開催された会議の概要と日程を以下に示す。TC138の議長は小林氏(積水化学工業株式会社)で幹事は江村氏(JISC)であり, また, TC138直轄のWG12の幹事国は日本である。しかし, 各SCの議長と幹事国は全て欧州である。日本の技術的レベルや経済力からすると, 日本はこれまで以上に標準化活動に積極的に参加して貢献すべきだと思われる。

(1) TC 直属会議およびイベント

Welcome Reception	10/29
WG12(補修更正法)	10/31~11/1
WG 全体会議および4つの TG 会議	
Advisory Group 会議	11/2

(2) 各 SC 会議

SC1(排水/下水用プラスチック管・継手)	10/29
SC 全体会議および2つの WG 会議	
SC2(給水用プラスチック管・継手)	10/30
SC 全体会議および1つの WG 会議	
SC4(ガス用プラスチック管・継手)	10/31~11/1
SC 全体会議および1つの WG 会議	
SC5(一般特性試験方法と仕様)	10/30, 11/1

SC 全体会議、1つの WG 会議および1AHG 会議

3. トピックス

今回の会議のトピックスの概要を以下に報告する。

(1) SC1(排水/下水用プラスチック管・継手)

- ・ WG4 : FDIS21138-1,2,3 が投票で承認され、3 規格が発行されたが、Part 3 は公差の記述に不具合があり、今後、追補で対応する。
- ・ WG6 : PE-RT 関連の CD22391-series は投票で得られたコメントを取り入れて文書を改正する。今後、CEN/TC155 が本開発に参加し、part 1,2,3,5 は ISO リードで、part 7 は CEN リードで進めることになった。

(2) SC2(給水用プラスチック管・継手)

- ・ WG1 : 耐熱性の PE 関連の CD22391-1,2,3,5 は投票が終了し、コメントを取り入れて文書を改正する。なお、今後、本開発には CEN/TC155 が参加して共同で進める。

(3) SC4(ガス用プラスチック管・継手)

- ・ AHG/NC&CMB : カラーマスターバッチを使用する規格は、議長の Boros 氏 (米国) が水野氏 (日本ポリスチレン株式会社) 作成の規格のドラフトを修正し、参加の意志を表明した 12 名のエキスパート (反対の欧州勢も参加) に回付することから活動を開始する。

(4) SC5(一般特性試験方法と仕様)

- ・ AHG/SCG(Slow crack growth) : Bodycote Polymer(UK)が Notch Ring Test(NRT)の試験結果について、2つの試験片間で応力拡大係数-破壊時間曲線に不一致があり、クラック成長状態にも差があることを報告した。また、Dr. Lever (USA) が継手モデルを使った SCG と長期強度の関係を報告した。本研究は ISO/TR として発行する予定である。
- ・ WG12 : Prof. Choi の好意により彼の研究室を訪問して PSGT 試験の装置を見学した。

(5) WG12(補修更正法)

- ・ WG12 : 下水/排水管と水道の管更正に関する 6 つの NWIP の投票の結果、添付文書を DIS として回付することに P-メンバーの 2/3 が賛成した。今後、各添付文書にコメントを取り入れて改正して DIS 投票にかける。一方、作成が遅れていた下水/排水管の管更正に関する NWIP(spirally wound pipes)は来年 2 月末にドラフトを完成し、3 月中旬に WG12 のメンバーに回付してコメントを集める。

次に、ガス管更生に関する NWIP (NP11299-1) がノミネートされた。来年 1 月中旬にドラフトができるので、WG 内で回付してコメントを集める予定である。

4. 来年の ISO/TC138 国際会議

2008年度はイタリアのローマで 10/27~10/31に開催する予定である。

以上